

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和4年11月24日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題19の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (定義)

この法律で「自動車運送事業」とは、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業をいう。(道路運送法)

()

問題2 (届出)

一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合及び定款並びに資本金の額に変更があった場合には、その旨を届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

()

問題3 (過労運転の防止)

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 4 (事業)

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し事業者に対する指導を行う。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 5 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者ごとに、法令で定める事項を記載し、かつ、写真をはり付けた一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えて置かなければならない。

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを3年間保存しなければならない。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 6 (定義)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に促進することをいう。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 7 (事故の報告)

事業者は、その事業用自動車転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 8 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。

(道路運送法)

()

問題 9 (解雇の予告)

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも30日前にその予告をしなければならない。30日前に予告をしない使用者は、30日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となった場合又は労働者の責に帰すべき事由に基づいて解雇する場合においては、この限りではない。(労働基準法)

()

問題 10 (運行管理者等の選任)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車(被けん引自動車を除く。)の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を30で除して得た数(その数に1未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。)に1を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、5両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が当該事業用自動車の種別、地理的条件その他の事情を勘案して当該事業用自動車の運行の安全の確保に支障を生ずるおそれがないと認めるものについては、この限りでない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 11 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併及び分割は、国土交通大臣へ届出をしなければ、その効力を生じない。ただし、一般貨物自動車運送事業者たる法人と一般貨物自動車運送事業を営まない法人が合併する場合において一般貨物自動車運送事業者たる法人が存続するとき又は一般貨物自動車運送事業者たる法人が分割をする場合において一般貨物自動車運送事業を承継させないときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 12 (臨時の報告)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣、地方運輸局長、運輸支局長から、その事業に関し報告を求められたときは、報告書を提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

()

問題 1 3 (点呼等)

事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、10年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 1 4 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 5 (運送約款)

事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 6 (運行管理者)

事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 1 7 (自動車に関する表示)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員10人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、荷主の氏名、名称又は記号その他国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法)

()

問題 1 8 (自動車検査証の備付け等)

自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。検査標章の有効期間は、その交付の際の当該自動車の自動車検査証の有効期間と同一とする。(道路運送車両法)

()

問題 19 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法)

()

II. 次の問題20から問題24の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題20（乗務等の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 乗務した事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア（ ） イ（ ） ウ（ ）

問題21（運転者）

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を遵守しなければならないこととなっているが、正しい事項をアからウより2つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。

イ. 運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること。

ウ. 疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出ること。

（ ）（ ）

問題 2 2 (過労運転の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ
選び () に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 正規社員

ウ. 試みの使用期間中の者 (14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

() ()

問題 2 3 (速報)

事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故
があったとき又は国土交通大臣の指示があったときは、24時間以内においてでき
る限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長に速報しなければならないこととさ
れているが、その対象となる事故として、誤っているものを次のアからウより1つ
選び、() 内にその番号を記入しなさい。(自動車事故報告規則)

ア. 2人以上の死者を生じた事故

イ. 5人以上の重傷者を生じた事故

ウ. 無免許運転を伴う事故

()

問題 2 4 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、国土交通
大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵
守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断
を受けさせなければならないことになっています。対象となる運転者には○印を、
そうでないものには×印を記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 死亡事故を引き起こした者

イ. 運転者として新たに雇い入れた者

ウ. 高齢者 (55才以上の者をいう。)

ア () イ () ウ ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
(令和4年11月24日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

- ※ 問題用紙は7ページあります。
- ※ 問題番号横の括弧は関係する法令等の標題を指し、問題文末尾の括弧は関係する法令等を指します。なお、設問文は、一部語句等を省略しているものもあります。

I. 次の問題1から問題19の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を
() 内に記入しなさい。

問題1 (定義)

この法律で「自動車運送事業」とは、旅客自動車運送事業、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業をいう。(道路運送法)

(×)

問題2 (届出)

一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合及び定款並びに資本金の額に変更があった場合には、その旨を届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法施行規則)

(×)

問題3 (過労運転の防止)

事業者は、休憩又は睡眠のための時間及び勤務が終了した後の休息のための時間が十分に確保されるように、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 4 (事業)

国土交通大臣が指定をした地方貨物自動車運送適正化事業実施機関は、輸送の安全を阻害する行為の防止その他この法律又はこの法律に基づく命令の遵守に関し事業者に対する指導を行う。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 5 (運転者台帳)

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者ごとに、法令で定める事項を記載し、かつ、写真をはり付けた一定の様式の運転者台帳を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えて置かなければならない。

一般貨物自動車運送事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを3年間保存しなければならない。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 6 (定義)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が契約、協定その他何らの名義をもつてするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に促進することをいう。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

(×)

問題 7 (事故の報告)

事業者は、その事業用自動車転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 8 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。

(道路運送法)

(×)

問題 9 (解雇の予告)

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも30日前にその予告をしなければならない。30日前に予告をしない使用者は、30日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となった場合又は労働者の責に帰すべき事由に基づいて解雇する場合においては、この限りではない。(労働基準法)

(○)

問題 10 (運行管理者等の選任)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車(被けん引自動車を除く。)の運行を管理する営業所ごとに、当該営業所が運行を管理する事業用自動車の数を30で除して得た数(その数に1未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。)に1を加算して得た数以上の運行管理者を選任しなければならない。ただし、5両未満の事業用自動車の運行を管理する営業所であって、地方運輸局長が当該事業用自動車の種別、地理的条件その他の事情を勘案して当該事業用自動車の運行の安全の確保に支障を生ずるおそれがないと認めるものについては、この限りでない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(○)

問題 11 (事業の譲渡し及び譲受け等)

一般貨物自動車運送事業者たる法人の合併及び分割は、国土交通大臣へ届出をしなければ、その効力を生じない。ただし、一般貨物自動車運送事業者たる法人と一般貨物自動車運送事業を営まない法人が合併する場合において一般貨物自動車運送事業者たる法人が存続するとき又は一般貨物自動車運送事業者たる法人が分割をする場合において一般貨物自動車運送事業を承継させないときは、この限りでない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 12 (臨時の報告)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣、地方運輸局長、運輸支局長から、その事業に関し報告を求められたときは、報告書を提出しなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

(○)

問題 1 3 (点呼等)

事業者は、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示をしたときは、運転者ごとに点呼を行った旨、報告、確認及び指示の内容等を記録し、10年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

(×)

問題 1 4 (輸送の安全の確保を阻害する行為の禁止)

事業者は、貨物自動車利用運送を行う場合にあっては、その利用する運送を行う一般貨物自動車運送事業者が輸送の安全に係る規定等を遵守することにより輸送の安全を確保することを阻害する行為をしてはならない。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 5 (運送約款)

事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。但し、事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、その運送約款については認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

(○)

問題 1 6 (運行管理者)

事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運転手のうち運転技能が優れていると認められる者から、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

(×)

問題 1 7 (自動車に関する表示)

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員10人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、荷主の氏名、名称又は記号その他国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法)

(×)

問題 1 8 (自動車検査証の備付け等)

自動車は、自動車検査証を備え付け、かつ、国土交通省令で定めるところにより検査標章を表示しなければ、運行の用に供してはならない。検査標章の有効期間は、その交付の際の当該自動車の自動車検査証の有効期間と同一とする。(道路運送車両法)

(○)

問題 19 (整備管理者)

自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。(道路運送車両法)

(○)

II. 次の問題20から問題24の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題20（乗務等の記録）

一般貨物自動車運送事業者等は、事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該乗務を行った運転者ごとに必要事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないが、次のア～ウについて、記録させる事項として正しいものには○を、誤っているものには×を（ ）内に記入しなさい。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 乗務した事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示

イ. 運転者の住所

ウ. 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時

ア（○） イ（×） ウ（○）

問題21（運転者）

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、貨物自動車運送事業輸送安全規則に掲げる事項を遵守しなければならないこととなっているが、正しい事項をアからウより2つ選び、（ ）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

ア. 乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告すること。

イ. 運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を適切に管理すること。

ウ. 疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を貨物自動車運送事業者に申し出ること。

（ア）（ウ）

問題 2 2 (過労運転の防止)

事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から2つ
選び () に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 日々雇い入れられる者

イ. 正規社員

ウ. 試みの使用期間中の者 (14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)

(ア)(ウ)

問題 2 3 (速報)

事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故
があったとき又は国土交通大臣の指示があったときは、24時間以内においてでき
る限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長に速報しなければならないこととさ
れているが、その対象となる事故として、誤っているものを次のアからウより1つ
選び、() 内にその番号を記入しなさい。(自動車事故報告規則)

ア. 2人以上の死者を生じた事故

イ. 5人以上の重傷者を生じた事故

ウ. 無免許運転を伴う事故

(ウ)

問題 2 4 (従業員に対する指導及び監督)

事業者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める運転者に対して、国土交通
大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵
守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が認定する適性診断
を受けさせなければならないことになっています。対象となる運転者には○印を、
そうでないものには×印を記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

ア. 死亡事故を引き起こした者

イ. 運転者として新たに雇い入れた者

ウ. 高齢者 (55才以上の者をいう。)

ア (○) イ (○) ウ (×)

四国運輸局

法令試験実施状況

実施年月	受験者数	合格者数
令和4年11月	6	6